

# 『財務報告論 第3版』

## 章末練習問題 解答

### 問題 1—1

#### 【解答欄】

①	財務
②	管理
③	連結財務諸表
④	個別財務諸表，単体財務諸表，財務諸表
⑤	財務報告
⑥	有価証券報告書
⑦	アカウンタビリティー
⑧	ディスクロージャー
⑨	意思決定有用性
⑩	情報提供
⑪	利害調整

### 問題 2—1

#### 【解答欄】

①	資産
②	負債
③	純資産
④	財政状態（財務状況）

## 問題 2—2

【連結 [ 貸借対照表 ]】

×2年3月31日(時点)

(単位:億円)

資産	( 流動 ) 資産			230	( 1,000 )
	( 固定 ) 資産	( 有形固定 ) 資産	( 355 )	( 750 )	
		( 無形固定 ) 資産	190		
		投資その他の資産	205		
	繰延資産			20	
負債	( 流動 ) 負債			50	200
	( 固定 ) 負債			( 150 )	
( 純資産 )	( 株主資本 )	( 資本金 )	( 200 )	( 600 )	800
		( 資本 ) 剰余金	200		
		( 利益 ) 剰余金	250		
		自己株式	△50		
	( その他の包括利益累計額 )			130	
	新株予約権			10	
	非支配株主持分			60	

## 問題 3—1

【連結損益計算書】

(単位:億円)

	×1年度	×2年度	×3年度
( 売上高 )	1,000	( 1,100 )	1,210
売上原価	600	660	( 710 )
( 売上総利益 )	( 400 )	( 440 )	500
販売費及び一般管理費	150	320	( 350 )
( 営業利益 )	( 250 )	( 120 )	150
営業外収益	10	10	15
営業外費用	25	55	( 65 )
( 経常利益 )	( 235 )	( 75 )	100
特別利益	20	35	( 210 )
特別損失	55	100	10
( 税金等調整前当期純利益 )	( 200 )	( 10 )	300
法人税、住民税及び事業税	90	1	( 125 )
法人税等調整額	△10	( 3 )	△5
法人税等合計	( 80 )	4	120
( 当期純利益 )	( 120 )	( 6 )	( 180 )
非支配株主に帰属する当期純利益	20	1	30
( 親会社株主に帰属する当期純利益 )	( 100 )	( 5 )	( 150 )

## 問題 4—1

【連結 [ キャッシュ・フロー計算書 ]】	
自 ×1 年 4 月 1 日 至 ×2 年 3 月 31 日 (単位：億円)	
	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△200
( 財務 ) 活動によるキャッシュ・フロー	60
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
( 現金及び現金同等物 ) の増加額	( 70 )
現金及び現金同等物の期首残高	10
現金及び現金同等物の ( 期末 ) 残高	( 80 )

## 問題 5—1

## 【解答欄】

①	純資産合計
②	純資産合計
③	その他の包括利益
④	期末純資産合計
⑤	親会社株主に帰属する当期純利益 (最終利益)

## 問題 6—1

## 【解答欄】

①	金融商品取引
②	経理の状況
③	貸借対照表
④	損益計算書
⑤	株主資本等変動計算書
⑥	計算書類
⑦	事業報告
⑧	附属明細書
⑨	計算書類等

## 問題 7—1

## 【解答欄】

①	株主
②	株主総会
③	株式
④	株主有限責任の原則
⑤	株式譲渡自由の原則
⑥	自己責任の原則

## 問題 8—1

## 【解答欄】

①	連結会社
②	提出会社
③	親会社
④	合併
⑤	買収
⑥	M&A

## 問題 9—1

## 【解答欄】

①	設備投資
②	耐用年数
③	費用（期間費用）
④	減価償却

## 問題 10—1

## 【解答欄】

①	株式時価総額
②	自己株式、自社株、金庫株
③	配当性向
④	配当利回り、インカムゲイン
⑤	株価増減率、キャピタルゲイン

## 問題 11—1

## 【解答欄】

①	監査役会設置会社
②	監査等委員会設置会社
③	指名委員会等設置会社
④	適法性（コンプライアンス）
⑤	経営の効率性
⑥	コーポレート・ガバナンス・コード
⑦	スチュワードシップ・コード

※①②③は順不同

## 問題 12—1

## 【解答欄】

①	迅速かつ的確な情報開示
②	再発防止策
③	企業倫理（ビジネス・エシックス

## 問題 15—1

①分母の資本について、期中平均数値を使う場合：

$$\text{ROE} : \underline{10} \% \quad \text{ROA [営業利益]} : \underline{15} \% \quad \text{ROIC} : \underline{15} \%$$

②分母の資本について、期末数値を使う場合：

$$\text{ROE} : \underline{9.1} \% \quad \text{ROA [営業利益]} : \underline{13.6} \% \quad \text{ROIC} : \underline{14} \%$$

①分母の資本について、期中平均数値を使う場合：

ROE

期首自己資本金額＝期首株主資本 8 兆円＋期首その他の包括利益累計額 1 兆円＝9 兆円

期末自己資本金額＝期末株主資本 10 兆円＋期末その他の包括利益累計額 1 兆円＝11 兆円

期中平均自己資本金額＝（期首自己資本 9 兆円＋期末自己資本 11 兆円）÷2＝10 兆円

ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益 1 兆円÷期中平均自己資本金額 10 兆円＝0.1 10%

ROA [営業利益]

期中平均資産金額＝（期首資産合計 18 兆円＋期末資産合計 22 兆円）÷2＝20 兆円

ROA [営業利益]＝営業利益 3 兆円÷期中平均資産金額 20 兆円＝0.15 15%

ROIC

ROICの計算式の要素

税引後営業利益＝営業利益×（1－法定実効税率）

事業投下資本＝純資産＋有利子負債＋非事業負債

－現金及び預金－非事業余剰資金資産－未稼働・遊休・廃止・処分予定事業資産

非事業負債、非事業余剰資金資産、未稼働・遊休・廃止・処分予定事業資産がない場合

事業投下資本＝純資産＋有利子負債－現金及び預金

税引後営業利益＝3 兆円×（1－0.3）＝2.1 兆円

期首事業投下資本金額＝期首純資産 9 兆円＋期首有利子負債 8 兆円－期首現金及び預金 4 兆円＝13 兆円

期末事業投下資本金額＝期末純資産 11 兆円＋期末有利子負債 10 兆円－期末現金及び預金 6 兆円＝15 兆円

期中平均事業投下資本金額＝（期首事業投下資本 13 兆円＋期末自事業投下資本 15 兆円）÷2＝14 兆円

ROIC＝税引後営業利益 2.1 兆円÷期中平均事業投下資本金額 14 兆円＝0.15 15%

②分母の資本について、期末数値を使う場合：

ROE

期末自己資本金額＝期末株主資本 10 兆円＋期末その他の包括利益累計額 1 兆円＝11 兆円

ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益 1 兆円÷期末自己資本金額 11 兆円＝0.0909 9.1%

ROA [営業利益]

ROA [営業利益]＝営業利益 3 兆円÷期末資産金額 22 兆円＝0.1363 13.6%

ROIC

税引後営業利益＝3 兆円×（1－0.3）＝2.1 兆円

期末事業投下資本金額＝期末純資産 11 兆円＋期末有利子負債 10 兆円－期末現金及び預金 6 兆円＝15 兆円

ROIC＝税引後営業利益 2.1 兆円÷期末事業投下資本金額 15 兆円＝0.15 14%

## 問題 15—2

流動比率： 100 %      当座比率： 50 %  
 ①負債資本比率： 150 %      または      ②負債資本比率： 100 %  
 ①自己資本比率： 40 %      または      ②自己資本比率： 50 %  
 ①固定比率： 200 %      または      ②固定比率： 160 %  
 固定長期適合率： 100 %

流動比率＝流動資産 120 億円÷流動負債 120 億円＝1

当座比率＝当座資産 60 億円÷流動負債 120 億円＝0.5

他人資本＝流動負債 120 億円＋固定負債 180 億円＋新株予約権 15 億円＋非支配株主持分 45 億円＝360 億円

自己資本＝純資産 300 億円－新株予約権 15 億円－非支配株主持分 45 億円＝240 億円

①負債資本比率＝他人資本 360 億円÷自己資本 240 億円＝1.5

②負債資本比率＝負債合計 300 億円÷純資産 300 億円＝1

総資本＝流動負債 120 億円＋固定負債 180 億円＋純資産 300 億円＝600 億円

流動資産 120 億円＋固定資産 480 億円＝600 億円      (ゆえに繰延資産＝0)

①自己資本比率＝自己資本 240 億円÷総資本 600 億円＝0.4

②自己資本比率＝純資産 300 億円÷総資本 600 億円＝0.5

①固定比率＝固定資産 480 億円÷自己資本 240 億円＝2

②固定比率＝固定資産 480 億円÷純資産 300 億円＝1.6

固定長期適合率＝固定資産 480 億円÷(純資産 300 億円＋固定負債 180 億円)＝1



## 問題 15—3

1株当たり純利益（EPS）： 100 円  
 1株当たり純資産（BPS）〔純資産〕： 1,000 円  
 1株当たり配当金（DPS）： 40 円  
 株価収益率（PER）： 20 倍  
 株価純資産倍率（PBR）〔純資産〕： 2 倍  
 株価配当率（PDR）： 50 倍  
 配当性向： 40 %  
 配当利回り： 2 %  
 株式益回り： 5 %

期中平均発行済株式総数＝（期首の発行済株式総数4億株＋期末の発行済株式総数6億株）÷2＝5億株

1株当たり純利益（EPS）＝親会社株主に帰属する当期純利益500億円÷期中平均発行済株式総数5億株＝100円

1株当たり純資産（BPS）〔純資産〕＝純資産6,000億円÷期末の発行済株式総数6億株＝1,000円

1株当たり配当金（DPS）＝剰余金の配当200億円÷期中平均発行済株式総数5億株＝40円

株価収益率（PER）＝株価2,000円÷1株当たり純利益（EPS）100円＝20

株価純資産倍率（PBR）〔純資産〕＝株価2,000円÷1株当たり純資産（BPS）〔純資産〕1,000円＝2

株価配当率（PDR）＝株価2,000円÷1株当たり純利益（EPS）40円＝50

配当性向＝剰余金の配当200億円÷親会社株主に帰属する当期純利益500億円＝0.4

配当利回り＝1株当たり配当金（DPS）40円÷株価2,000円＝0.02

株式益回り＝1株当たり純利益（EPS）100円÷株価2,000円＝0.05

## 問題 16—1

- ① 割引現在価値合計 10,000 億円  
 ② 割引現在価値合計 10,000 億円

- ①  $700 \div 0.07 = 10,000$   
 ②  $100 \div (0.07 - 0.06) = 10,000$

## 問題 16—2

加重平均資本コスト 7 %

$$\begin{aligned} & \text{負債コスト } 4\% \times (5,000 / (5,000 + 15,000)) + \text{株主資本コスト } 8\% \times (15,000 / (5,000 + 15,000)) \\ & = \text{負債コスト } 4\% \times (0.25) + \text{株主資本コスト } 8\% \times (0.75) = 7 \end{aligned}$$

## 問題 16—3

株主価値：7,500 億円      1株当たり株主価値：1,500 円

企業価値＝事業価値 10,000 億円＋現金預金残高 2,000 億円＋遊休資産価値 500 億円＝12,500 億円  
 株主価値＝企業価値 12,500 億円－有利子負債合計 5,000 億円＝7,500 億円

1株当たり株主価値＝株主価値 7,500 億円÷発行済株式総数 5 億株＝1,500 円